

令和元・2年度牛久市都市計画マスタープラン改訂業務

【市民意向調査報告書】

令和2年3月

目 次

序. 市民意向調査結果のまとめ	1
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 配布・回収状況	3
4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項	3
5. アンケート調査項目	4
6. アンケート調査結果	5
問1 回答者の属性（性別，年齢等）	5
問2 永住意向	7
問3 移住したい理由	10
問4 居住地域のまわりの環境に対する満足度と重要度	12
問5 居住地域で最も整備が必要だと思われるもの	46
問6 牛久市の今後の開発と保全のあり方	48
問7 これからの牛久市におけるまちづくりの取り組み	50
問8 「今の牛久市」と「将来の牛久市」をイメージする言葉	54
問9 まちづくり活動への参加意向	56
調査票	59

序. 市民意向調査結果のまとめ

■永住意向等について

- ・回答者の61.8%が、20年以上牛久市に居住しています。
- ・永住意向については、**64.4%の人が「ずっと住み続けたい」と**回答しています。
- ・永住意向について、「わからない」と回答した人が22.4%となっており、年齢別にみると、10歳代(33.3%)、30歳代(35.6%)と、これからの生活スタイルが変化する可能性のある世代で比較的多くなっています。居住地区別にみると、奥野小学校区(30.4%)が、比較的多くなっています。
- ・移住を希望する人の理由は、「**買い物などの生活が不便**」と回答した人が**22.9%**と最も多くなっています。なお、「買い物などの生活が不便」と回答した人は、年齢別にみると、50歳代以上(30%前後)のこれから高齢者になるまたは高齢である世代で多くなっています。居住地区別にみると、岡田小学校区(31.8%)、牛久第二小学校区(40.0%)が、比較的多くなっています。

■居住環境における現在の満足度と将来の重要度について

- ・最優先改善項目(満足度低・重要度高)では、「**歩行者・自転車等への安全対策**」(幹線道路、生活道路)が最も求められており、また、災害時や緊急時等における安全対策や空き家・空き地の管理活用、不法投棄対策も上げられています。
- ・重点維持項目(満足度高・重要度高)は、「**下水道の整備状況**」、「**商店・スーパーなどの買い物環境**」などがあります。
- ・現状維持項目(満足度高・重要度低)では、「**公園・広場の緑の豊かさ**」など、緑や水(沼・河川)、自然景観に関する項目が多くなっています。
- ・一方で、改善項目(満足度低・重要度低)の中には、「**牛久沼や河川などの親水空間の整備**」、「**公園・広場の遊具や設備**」といった、水辺や公園の活用に関する項目も見られます。

■地域で最も整備が必要と思うものについて

- ・最も整備が必要と思われるものは、「**歩行者・自転車などへの安全対策**」と回答した人が**24.7%**と最も多く、次いで「**バスなどの公共交通機関の整備**」が**21.1%**となっています。
- ・年齢別にみると、「**歩行者・自転車などへの安全対策(生活道路)**」と回答した人は、30歳代以上でそれぞれ最も高い割合となっており、特に**40歳代(31.0%)**、**50歳代(30.2%)**で(おそらく子どもが通学などしている世代で)、**全体と比較しても高い割合**となっています。
- ・「**バスなどの公共交通機関の整備**」と回答した人は、岡田小学校区(26.5%)、ひたち野うしく小学校区(28.3%)が、他の居住地区よりも高い割合となっています。

■今後のまちづくりについて

- ・今後の開発と保全のあり方については、「生活環境向上のため、ある程度は開発が必要」が48.8%と最も多く、次いで「特別な事情がない限り保全が必要」が12.7%となっています。
- ・居住地区別にみると、「生活環境向上のため、ある程度は開発が必要」と回答した人は、岡田小学校区（54.7%）、奥野小学校区（55.4%）、ひたち野うしく小学校区（59.1%）が、他の居住地区と比較して高い割合となっています。
- ・これからの牛久市のまちづくりの取り組みについては、「駅周辺などに店舗や病院、公共施設などの生活サービス機能が集まったコンパクトなまちづくりを進めるべき」が44.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば、コンパクトなまちづくりを進めた方がよい」が25.0%となっています。
- ・理由としては、利便性が高まると良いからと回答する人が多くなっている一方で、集約する場所以外への対策も必要と回答する人も複数みられました。
- ・居住地区別にみると、「駅周辺などに店舗や病院、公共施設などの生活サービス機能が集まったコンパクトなまちづくりを進めるべき」と回答した人は、牛久駅周辺の牛久小学校区（54.3%）、牛久第二小学校区（57.6%）が、他の居住地区と比較して高い割合となっています。
- ・牛久市をイメージする言葉については、現在については「のんびり」「自然な」「のどか」など、温かなイメージが強くなっていますが、将来については「活気ある」「親しみやすい」といった、にぎわいのイメージが求められています。
- ・まちづくり活動への参加方法については、「まちづくりには直接参加できないが、情報は受け取りたい」が33.0%と最も多く、次いで「防犯パトロールや高齢者の見守りなどの地域の安全支援活動」が15.8%となっています。なお、「まちづくりの参加には興味がない」と回答した人は10%弱となっており、なんらかの形でまちづくりに参加したいと思う人が大半となっています。
- ・居住地区別にみると、岡田小学校区では「ごみの減量などの低炭素・循環型社会への啓発活動」（21.8%）、「防犯パトロールや高齢者の見守りなどの地域の安全支援活動」（21.2%）、と他の居住地区と比較して、やや参加意向が高い傾向にあります。

1. 調査の目的

本調査は、平成12年度に策定した都市計画マスタープランの計画期間の終期を迎えるにあたり、現在のまちの課題等を把握し、新たな都市計画マスタープラン策定の基礎資料とするために実施した。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 市内在住の18歳以上の男女 約2,500人(無作為抽出による)

(2) 調査方法

- ・ 郵送によるアンケート

(3) 調査期間

- ・ 令和元年8月30日(金)～9月17日(火)

3. 配布・回収状況

- ・ 配布数: 2,509票
- ・ 回収数: 1,223票
- ・ 有効回答(者)数: 1,223票(人)
- ・ 有効回答率: 48.7%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
 - ・ 複数回答の設問については、母数を有効回答票数としているため、百分率の合計が100%を超えています。
 - ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ※ 有効回答者数は各設問の表下に(N=●)で表してあります。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合はカウントしていません。

5. アンケート調査項目

1)あなたご自身について	
問1①	性別
問1②	年齢
問1③	通勤・通学先
問1④	牛久市における居住年数(合計)
問1⑤	居住履歴
問1⑥	お住まいの小学校区
2)牛久市の住み心地について	
問2	永住意向
問3	移住したい理由
3)住まいのまわりの環境について	
問4	居住地域のまわりの環境に対する満足度と重要度
問5	居住地域で最も整備が必要だと思われるもの
4)これからの牛久市の都市計画の取り組みについて	
問6	牛久市の今後の開発と保全のあり方
問7	これからの牛久市におけるまちづくりの取り組み
問8	「今の牛久市」と「将来の牛久市」をイメージする言葉
5)まちづくりの参加について	
問9	まちづくり活動への参加意向
問10	自由回答

■区域区分図

